

日蓮大聖人御書全集

しじょううきんごどのごへんじ

四条金吾殿御返事

るなん

とど

ひじゅつ

こと

(留難を止むる秘術の事)

しじょうきんごどのごへんじ るなん とど ひじゅつ こと

四条金吾殿御返事（留難を止むる秘術の事）

けんじ
ねん

建治 3年 ('77)

56歳

四条金吾

ほけきようほんじやくあいたい

るなん

しゃくもん

しじょうしようがく

法華経本迹相対して論ずるに、迹門はなお始成正覺の

むね
あ

ゆえ

るなん

ほんもん

るなん

旨を明かす故に、いまだ留難かかれり。本門はかかる留難を

さ

だいもく

ご
じ

あいたい

とき

去りたり。しかりといえども、題目の五字に相対する時は、

まつぱう
き

適

ほう

しんじつ

いつさいしゅじょう

しきしん

る

末法の機にかなわざる法なり。眞実、一切衆生、色心の留

なん
とど

ひじゅつ

なんみようほうれんげきよう

難を止むる秘術は、ただ南無妙法蓮華経なり。

にちれん

日蓮

しじょうきんごどのごへんじ

四条金吾殿御返事